研究実施のお知らせ

2026 年 6 月 4 日 ver.2.0

研究課題名

包括的がんゲノムプロファイリング検査施行症例における治療到達性および治療到達性に影響を与える因子の検討

研究の対象となる方

2019 年 6 月 1 日から 2031 年 12 月 31 日の間に島根大学医学部附属病院でがん遺伝子パネル検査を受けられた固形がん患者の方で、その際にご自身を直接特定できない形にした情報やゲノムデータ等を「がんゲノム情報管理センター」（C-CAT）へ提供することに同意された方

該当するがん遺伝子パネル検査は 2026 年 6 月現在で以下の 5 種類ですが、今後の保険適用の状況によって該当する検査種類が変動する可能性があります。

- OncoGuideTM NCC オンコパネルシステム
- FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル
- GenMineTOP® がんゲノムプロファイリングシステム
- FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル
- Guardant360® CDx がん遺伝子パネル

研究の目的・意義

2019 年にがん遺伝子パネル検査が保険診療で実施できるようになり、がんゲノム医療が発展してきていますが、どのような患者さんに検査をすべきか、また検査結果をどのように解釈するかなど課題が多い状況です。特に、がん遺伝子パネル検査で得られた結果から新たな治療を受けた患者さんの割合は低く、充分に患者さんに治療を届けられていない状況です。本研究では、患者さんに新しい治療を届ける割合を改善することに向けた現状の把握のため、「がんゲノム情報管理センター」（Center for Cancer Genomics and Advanced Therapeutics: C-CAT）のデータから、何が治療を届ける割合に影響を与えているかを検索します。

研究成果により、がんゲノム医療の実際の状況を明らかにし、がんゲノム医療のさらなる発展に貢献できる可能性があります。

研究の方法

がん遺伝子パネル検査で得られた遺伝子の情報および「がんゲノム情報管理センター」（C-CAT）の「がんゲノム情報レポジトリー臨床情報収集項目一覧表」

（https://www.ncc.go.jp/jp/c_cat/jitsumushya/030/index.html#a3）に定められた項目について情報を収集し、そのデータを本研究に利用します。
　がん遺伝子パネル検査を実施した際に、「あなたの治療に役立つ情報を発見するため、あなたを直接特定できない形にした情報やゲノムデータ等を「がんゲノム情報管理センター」（C-CAT）へ提供すること」に同意されているので、C-CAT に保管されているデータを利用します。
　C-CAT に保管されているデータは、特定の個人を識別できないように加工されています。

研究の期間

　2026 年 5 月（研究許可後）～2033 年 3 月

研究の公表

　この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

　この研究は次の機関が行います。

　研究責任者：
　　島根大学医学部附属病院臨床遺伝・ゲノム医療センター　　山本寛斉

　既存情報の提供のみを行う機関
　　がんゲノム情報管理センター（C-CAT）（情報提供元）
　　提供担当者/機関の長　センター長　河野隆志

情報の利用停止

　C-CAT から収集する情報は、個人を特定できないようにした状態になっています。したがって、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合に、ご本人または代理人の方からその旨をお申し出いただいても、利用を停止することができません。

相談・連絡先

　この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

　研究責任者：

島根大学医学部附属病院臨床遺伝・ゲノム医療センター　山本寛斉
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-88-3053